

日本学術会議化学委員会分析化学分科会（第24期・第3回）議事録（公開版）

日時： 平成30年9月6日（金）13:00-14:00

場所： 幕張メッセ国際会議場 213 6-B 会議室

出席者（敬称略）： 一村信吾、尾嶋正治、竹内孝江、栄長泰明、齊藤公児、佐藤 縁、
玉田薫（スカイプ参加）

欠席者： 加藤昌子、谷口功

記録： 佐藤 縁

配布資料：

資料番号なし 第24期 第3回分科会 議事次第

資料3-1-1 第24期 第1回分科会の議事録（公開版）（案）

資料3-1-2 第24期 第1回分科会の議事録（分科会内、議論メモつき版）（案）

資料3-2 公開シンポジウム「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォームの構築—これまでの取り組みと今後の展望—」の開催について（本日）

資料3-3-1 分析化学分科会の紹介について（部の紹介原稿案）

資料3-3-2 日本学術会議化学委員会分析化学分科会活動報告等

議事進行内容：

0. 配布資料確認

1. 第24期第2回議事録（資料3-1-1 および3-1-2）：出席者全員で確認の後、これを承認した。

2. 本日のシンポジウム内容確認（資料3-2）について：

本日のシンポジウムの内容および進行について一村委員長より説明があった。

本シンポジウムは既に事前申し込みで130人以上あり、会場には予備椅子を入れる予定。本内容に関心を持たれていることがよくわかる。大きな関心を持っていたことは日本学術会議、学術振興会、日本分析化学会、としては喜ばしいことである。いままでの努力と方向性が形になってきたようである。

3. 部の紹介について議論（資料3-3-1）：

ホームページ等に載せるための文章案を見て確認した。SDGsについてもわかりやすくしたいため、文言を少々検討し直すことにした（竹内幹事・佐藤幹事・玉田委員）。

4. 化学委員会分析化学分科会 昨年度の活動報告について（資料 3-3-2）：
活動の年度が9月末終了（資料には今回（9月6日）開催の分科会も入っている）
となるのでこれを確認した。

5. 今後の分科会、その他
 - ・次回分科会開催は11月16日（金）10時乃木坂（日本学術会議の建物）。

以上